

みなさん、こんにちは。
この音を聞いて下さい。
何の音でしょう？
そう、これは雨の音です。
この楽器は、アフリカから来ました。
アフリカはあまり雨が降りません。
ですから人々は、この雨の音を鳴らして
雨が降るように祈るそうです。
いまでは楽器として使われています。

みなさんの国では、雨はたくさん降りますか？
雨がたくさん降って、ときどき困るほどです、という人、手を挙げてみてください。
では、雨があまり降らなくて困ることがあります、という人は？
ちょうどいい量です、という人は？

世界の平均降水量は1000ミリですが
日本の平均降水量は、1800ミリあります。
日本は世界のなかでも雨に恵まれた幸せな地域なのです。

どうして雨や水が大事なのでしょうか？
まず、生き物として私たちは水がなくては生きていけません。
食べ物がなくてもしばらくは生きていますが、
水を飲まないと数日で死んでしまいます。
それは私たちの身体にはたくさんの水があるからです。

私たちの身体の何%が水分だと思いますか？
10%、20%、40%、60%？
10%だと思う人？
20%だと思う人？
40%だと思う人？
60%だと思う人？

そうです、私たちの身体の60%が水分なのです。

赤ちゃんは80%だそうです。

水は私たちの身体にたくさんあるから重要であるだけでなく、私たちの食べ物を作るためにも、水がなくてはなりません。

みなさんは水を飲みますよね？

では水を食べますか？

「いえ、水は食べません」という人が多いでしょうけど

食べ物を作るには水が必要なので

「水を食べている」とも言えるのです。

ごはんを食べるにはお米を作りますね。

パンを食べるには？ そう、小麦ですね。

うどんも小麦です。

お米や小麦を作るためには、その1000倍の水が必要です。

たとえば、どんぶん一杯300グラムのごはんを食べるためにはその1000倍の30リットルの水が必要です。

ではお肉を食べるときはどうでしょうか？

牛肉を作るには、牛にエサをやりますが、これが穀物です。

牛の場合は、7キロのエサで、1キロの牛肉ができますといえますから、

牛肉を作るには、その7000倍の水が必要となるのです。

100グラムの牛肉を食べるということは、

700リットルの水を食べるということなのです。

つまり、牛丼一杯を食べるときには、730リットル、

1リットルのペットボトル730本分の水を食べているのだと思って下さい。

これを「バーチャル・ウォーター」と言います。

私たちは、1日に3～4リットルの水を、お茶やジュースなどの形で飲んでいますが、なんとその500倍もの水を「食べている」ことになるそうです。

日本は大量の食料を輸入しています。

つまり、大量の水を食料という形で輸入しているのです。

世界の他の地域から、水を取り上げていることになります。

日本は水に恵まれているのですから、できるだけ自分たちの食べる物は自分たちで作って、水の足りない地域から食料を輸入しないようにしなければなりませんね。

地球儀や宇宙から撮った地球の写真を見たことがありますか？

青い星でしょう。

地球は「水の惑星」と呼ばれています。

とても水が多いのです。

でも地球の水のほとんどは海水です。

そのまま飲んだり使うことはできません。

淡水は地球全体の水の2.5%しかありません。

淡水といっても、南極、氷河、万年雪の水は使えません。

「使える淡水」は、0.8%しかないのです！

地球上の水をバケツ1杯とすると

淡水はコップ1杯しかなくて、

そのなかでも私たちが使える水は

なんとスプーン1杯もないくらいなのです。

大事に使いたいですね。

日本には昔「背負い水」という言い方がありました。

私たち一人一人は、一生使う水を背負って生まれてくるんだよ、

だから無駄に使うと、あとで自分が困るんだよ、という意味です。

とてもいい言葉だと思いませんか？

持続可能な、他人や未来世代、人間以外の生き物に迷惑を掛けない生き方を教えてくれることばです。

私たちが水を大事にしなくてはならないのは、

もともと使える水が有限で少ししかないせいだけではありません。

雨が降ると、新しい水が地球にやってくるように思えますが、

実はそうではありません。

降った雨が、蒸発して、雲となり、また降ってきます。

地球の水は、大昔からずっと同じ水がぐるぐると循環しているのです。

このあいだ降った雨は、数千万年まえに恐竜の背中に降った雨かもしれないのです！

数千万年後も、この同じ水を地球の人々や生物は使っています。

それしかないのですから。

だから水を大切にしましょう。
無駄づかいしなだけでなく、汚さないようにしましょう。
川や海にごみを捨てたりして水を汚すと、
汚れた水が循環することになります。
それでは未来の子どもたちに申し訳ないですね。

水についていろいろと話をしました。
大事に、汚さずに使おう、とってくれたことと思います。

では最後に一つ、ゲームをしましょう。
ここにいる全員で同時に手を叩いてほしいのです。
こういうふうにやります。
まず私が3つまでゆっくり数えます。1，2，3と。
それから「手を叩いて下さい」と言います。
私がそう言ったそのときに、みなさんは手を叩いて下さい。
いいですか？ 1，2，3，叩いて下さい、といますから、
私がそう言ったその瞬間に叩いて下さいよ。

ではやってみます。
1，2，3、叩いて！

あらら、何が起こったのでしょうか？
みなさんは、何をすべきかわかっていたのでしょうか？
そうしたいと思っていたのでしょうか？
でも……？

言葉より行動の方が影響力が大きい、ということです。
私の言葉と行動が違っていたとき、みなさんは行動にしたがったでしょう？
「水が大事だ」と言うだけでなく、
それを行動にすることが大事だということなのです。
水を大事にするために何ができるのか
1つでも2つでも考えて、
ぜひ行動して下さい。

ありがとうございました。